

歌で心を和ませたい 菊池恵楓園でクリスマスコンサート

12月23日、菊池恵楓園でクリスマスコンサートが行なわれました。これは、同園の医師や看護師、事務員などの職員有志が季節ごとに行なっているボランティアで、今回で50回目を迎えました。

今年は市の若手職員も参加し、聖歌隊として外来病棟を巡回したり入院棟でクリスマスソングを合唱するなど、同園のハンドベル隊や大津町の子ども合唱団とともに入院患者の心を和ませていました。



病棟にクリスマスソングが響きました

チームワークで勝負 ママさんバレーボール全国大会優勝

12月14日、群馬県で行なわれた第4回全国ママさんバレーボール冬季大会に、県代表として西合志クラブが出場し、見事優勝を勝ち取りました。

全国から各県の強豪48チームが出場したこの大会、東京都代表のチームと戦った決勝戦は逆転に次ぐ逆転の試合となりました。選手も応援も手に汗握る白熱した試合でしたが、チームワークで最後まであきらめずに戦い、西合志クラブが栄光を手に入れました。



たくさんの応援、ありがとうございました

結成10周年 黒石団地区防犯パトロール隊

12月7日、黒石団地公民館で、同自治会の有志で結成した防犯パトロール隊の10周年記念式典が行なわれました。

式典には隊員など約50人が出席し、隊長の児玉琢磨さんから「自分たちのまちは自分たちで守る」という力強い決意表明がありました。式典後は年末警戒に向けて青色パトロール車の出発式も行なわれ、隊員は気を引き締めて新たな一歩を踏み出しました。



昨年度はボランティア団体として市からの表彰も受けました

育てよう 人のぬくもりあふれる合志市 第9回合志市人権フェスティバル

12月6日、ヴィーブルで第9回合志市人権フェスティバルを開催し、約1,000人が参加しました。

人権標語・ポスター表彰やこうしおんがく保育園・西合志第一小学校などのステージ発表がありました。なかでも人権バンドゆうジーンズのライブでは、メンバーの体験談や、差別をなくしたいという思いを込めた歌に聴き入って多くの人が感動。参加者はあらためて人権の大切さに気づき、学んでいました。



最後は全員で「花は咲く」を歌い、みんなの思いをひとつにしました

一年の無病息災を願って 地域の伝統行事どんどや

1月10～18日、やぐらで正月飾りなどを燃やして一年の無病息災や平穏を願う伝統行事、どんどやが市内各地域で行なわれました。どんどやの火で焼いた物を食べると風邪をひかないといわれており、参加者は各家庭から持ち寄った鏡餅などを竹竿につるして残り火で焼いていました。

温かいぜんざいが振る舞われると、訪れた人たちは「熱いけどおいしい」と冷えた体を温めていました。



1月18日 合志小PTA主催のどんどや（合志小跡グラウンド）
建てたやぐらは10m。当日は約150人もの参加者で賑わいました



1月10日 合生コミュニティ主催のどんどや（合生グラウンド）
子ども対大人で行なわれた綱引きは子どもチームの圧勝でした



1月10日 野々島コミュニティ主催のどんどや（上生グラウンド）
あつあつのぜんざいを嬉しそうにほおぼる子どもたち

古着をリサイクル 古布の足ふきマットを保育園に寄贈

12月10日、市商工会女性部（池永けい子会長）が地域貢献を目的として、古布で作製した足拭きマット105枚を市認可保育園連盟（平野正憲会長）に贈りました。

不要になったTシャツなどの古着で作られたマットは色とりどりで足拭きにはもったいないようですが、園庭で元気よく遊んだ子どもたちが笑顔で足を拭く姿が目浮かぶようです。



市商工会女性部の皆さん、平野会長（中央）と古布の足ふきマット

二度目の挑戦 詩吟の全国大会で初優勝

12月7日、東京で行なわれた第50回日本コロムビア全国吟詠コンクール決戦大会に文徳高等学校2年の田尻真見さん（上須屋）が県代表として出場し、見事優勝を果たしました。

小学4年生のときに詩吟を始め、現在も上須屋学習センターなどで週2～3回の練習に励む田尻さん。「若い世代に詩吟の素晴らしさを広め、日本文化の良さを伝承していきたい」と思いを語りました。



詩吟だけでなく人間性も高めていきたいと思います